

應を訪問し要求貫徹上努力した。

聲明書

我等五十萬ノ官業労働者ガ多年吾等ノ相互扶助機関タル共
済組合ノ根本的改造ヲ絶叫シテ素々ノハ、ソノ組織ノ内容ニ
於テ餘リニ頓陷ノ多イガ故デアアル。
見ヨ官業共済組合ガ其ノ本質ニ於テ法律上ノ人格ヲ欠如セ
ルタメ近代稀ニ見ル封建專制ノモノデアアルハ、言フ迄モナ
カ甚ダシキニ至ツテハ組合資金ノ運用以上ヨ吾等ガ負擔シ
居ルニ拘ハラズ、吾等ヨシテ一切機関ノ内外ニ立タシメ組合
員ノ意志ガ毫毛認メラレテ居ナイト言フコトハ、吾等ガ絶対
ニ首肯シ能ハザルトコロデアアル、茲ニ於テ吾等ハ吾等ノ職
術ヲ最モ有効ナラシムルタメ必然的ニ共同ノ利害ノ上ニ全
官業労働組合カ一齊ニ起ツテ、ソノ所信斷行ノ為敢然トシテ
此処ニ協議會ヲ開キ、吾等ノ意圖ヲ決識シ敢テ当事者ノ三省
ヲ促ス所以デアアル

右聲明ス

決議

其済組合ノ管理ニ組合員ヲ參與セシムルヲ以テ法人トス
ルコト。
理由、我國官業ニ於ケル共済組合ノ本質ハ之レヲソノ如何ニ
ル莫ヨリ討究スルモ民法上人格ヲ有スル普通組合ト全然一
スルモノナルコトハ既ニ識者及社會ノヨク之ヲ認ムル所ナ
テ、然ルニ現行共済組合規則ハ此ノ明瞭ナル事理ヲ没却シ
テ組合ノ法律的基础ヲ確定セズ為メニ其業執行ノ上ニ於テ
或ハ又財産管ノ方法ニ就テ、幾多ノ不合理及不便ヲ来シ
組合員ヨシテ組合ニ對スル充分ナル信頼ヲ得セシメザルニ
至ル故ニ之等ハコノ機會ニ於テ全官業共済組合ノ法人化ヲ
力説シ、組合ニ對スル組合員ノ自由ナル意志ノ挿入ヲ圖リ管
理經營ニ關スル組合員ノ正当ナル權利ノ擁護尊重ヲ期セン
トスルモノデアアル。